



第 45 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました（2026/9/24-26）

場所：東北大学 災害科学国際研究所

参加者：佐藤翔輔准教授，新家杏奈助教，成田（D3），梶（M2）

9月24日(木)～26日(土)の3日間、東北大学災害科学国際研究所で、自然災害学会が主催する「第45回日本自然災害学会学術講演会」が開催されました。同学会は、自然災害科学の研究の向上と発展を目指し、防災・減災に役立てることを目的とする学会です。

学会大会は年に1度行われ、本大会ではオープンフォーラムも同時に開催されました。オープンフォーラムでは、「震災15年、若者がつなぐ物語—震災を知らない世代の「伝承」—」と題し、石巻市立北上小学校や巨理町立荒浜中学校、宮城県多賀城高等学校、宮城県気仙沼高等学校など震災の記憶の無い学生によるリレー発表が行われました。

当研究所からは、査読付きセッションで2件、一般セッションで2件の研究発表を行いました。各発表者の発表題目等は次の通りです：

【査読付きセッション】

- 新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦：北海道・三陸沖後発地震注意情報の初回発表に対する住民対応の分析—宮城県における津波浸水想定域内外の比較
- 佐藤翔輔：1982年長崎豪雨災害の伝承手法としての「伊良林小学校ホタルの会」の活動の成立・継続・効果に関する調査・考察および他事例との比較分析

【一般セッション】

- 成田峻之輔，山田貴晴，渡邊亮文，尾本周作，横山航典，奥山和季，佐藤翔輔，今村文彦：準天頂衛星システム「みちびき」と連動したバルーン型津波避難標識の実証実験
発表優秀賞
- 梶明日香，佐藤翔輔，新家杏奈：VR 避難実験を用いた津波避難行動における防護動機理論とプロスペクト理論の二面性検証

また、同時に開催された学会賞授与式では、新家杏奈助教が学術奨励秀賞を受賞しました。同賞は前年度発行の和英査読論文誌で優れた論文等を発表し、これが自然災害科学における学術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むと認められる者で、年齢が満40歳以下である人に贈られるものです。

【受賞論文】

- 新家杏奈，佐藤翔輔：被災体験の聞き取りを活用した防災学習の継続的な実践とその効果—鹿折中学校での実践事例—，自然災害科学，Vol. 44，特別号，pp. 175-189，2025.



佐藤翔輔准教授

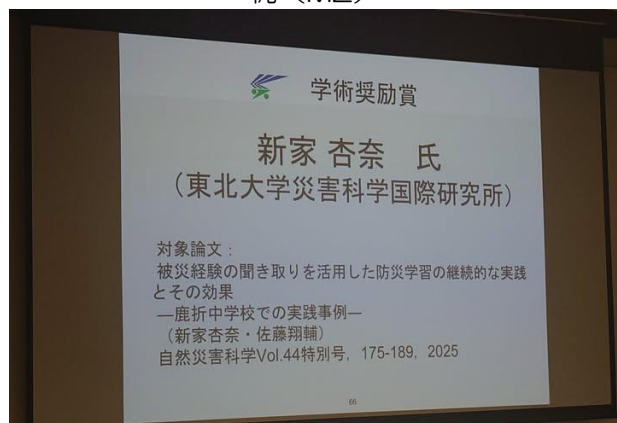
成田（D3）



梶（M2）



成田（D3）の発表優秀賞受賞時の様子



学会賞授与式の様子

（文責：梶）